

令和4年度 大阪薫英女学院中学校高等学校 学校評価

1 めざす学校像

「敬・信・愛」を建学の精神とする本校は、「21世紀の国際化した社会にたくましく生きる女性を育成する」ことを目標に掲げ、世界で活躍するとともに生涯にわたって幸せに充実した人生を送ることのできる人間の育成をめざしています。

自らの人生を切り拓き、いかなる苦難にも負けることなく「たくましく生きていく」ためには、「豊かな人間性」とともに「豊かな学力」が不可欠であることから、これら二つを一体のものとして捉え、よき集団の中で「豊かな人間性（人と関わる力）」を育むとともに、互いに励まし合い競い合って「学力の向上」を図ります。

- 1 国際的な視野を持ち論理的に考えることのできるグローバル人材の育成
- 2 夢の実現に向けた学力の育成
- 3 友情を育み自立心を養う

2 中期的目標

- 1 国際的な視野を持ち論理的に考えることのできるグローバル人材の育成

(1) 留学の充実

姉妹校との連携を深め、安心安全な留学を基本とする「長期留学」のさらなる充実に努める。現地アドバイザーとの連絡を密に、生徒の状況把握に努め、留学の円滑な実施に向けて努力します。重大事故ゼロはもとより、姉妹校との連携を引き続き促進し、プログラムのさらなる質的向上を図ります。

*留学参加生徒へのアンケートでの満足度を、令和7（2025）年度までに90%以上とします。

(2) 海外研修の充実

単なる観光ではなく体験を重視したプログラムを実施し、現地において異文化理解や国際交流が深められるよう努めます。また、これまで実施してきたニュージーランド5週間の短期留学やイギリス・カナダへの2週間語学研修、各種海外修学旅行のさらなる充実に努めます。

*参加生徒へのアンケートでの満足度を、令和7（2025）年度まで90%以上を維持し、さらに向上させます。

(3) 「実用英語技能検定(英検)」の取組み

全校を挙げて英検に取り組み、中学卒業時で準2級以上、高校卒業時で普通科は2級以上、国際科は準1級以上の取得を目標とします。

*それぞれの取得率を、令和7（2025）年度までに準2級70%、2級40%、準1級45%以上とします。

2 夢の実現に向けた学力の育成

(1) 授業の充実

公開授業、研究授業を定期的実施し、「分かる授業、興味を持てる授業」に努めるとともに、さらなる授業改善に取り組みます。

*「生徒授業アンケート」における総合評価のさらなる向上に努めます。

(2) 学習意欲の喚起

「一人で勉強しない」を合い言葉に、友人とともに学習に取り組むことで、学力のさらなる向上を図ります。

*生徒向け学校評価アンケートの「学習活動を通じた学力向上に関する項目」について、令和7（2025）年度までに肯定的回答70%以上をめざします。

(3) 夢を実現する進路指導

生徒が主体的に進路目標を定め、実現できるように努めます。

*生徒向け学校評価アンケートの「進路指導に関する項目」について、令和7（2025）年度までに肯定的回答75%以上をめざします。

3 友情を育み自立心を養う

(1) ともに競い合い、励ましあって向上する集団の育成に努めます。

学校行事に真剣に取り組むことで、みんなでやり遂げた達成感を味わうとともに、互いの存在に気づき尊重する豊かな心を育むことで、クラスへの帰属意識を養い、相互に良い刺激を与え合う集団づくりをめざします。

*生徒向け学校評価アンケートの「学校行事全般に関する項目」について、令和7（2025）年度までに肯定的回答75%以上をめざします。

(2) 規範意識と豊かな心を育む

基本的な生活習慣の確立に努めます。

*基本的な生活習慣の象徴として、遅刻回数を令和7（2025）年度までに2,000回未満にすることをめざします。

(3) 安心・安全な学校づくり

いじめを許さないことはもとより、互いを認め合える集団作りを推進します。また、そのための方策の一環として、保護者との連携の強化に努めます。

*生徒・保護者向け学校評価の「人権に配慮した指導」に関する項目に対する肯定的回答のさらなる向上に努めます。

【自己評価アンケートの結果と分析・学校評価委員会からの意見】

自己評価アンケートの結果と分析 [令和4年12月実施分]	学校評価委員会からの意見
<p>【概括】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いわゆる学校満足度「本校に入学してよかった」「子どもを入学させてよかった」は生徒 79.3%、保護者 83.4%と高評価であった。 ・生徒アンケートの「学習に対する（通知表に示される）評価は、適切で納得できる。」「文化祭をはじめとする学校行事は充実している。」「本校の教職員は、生徒の人権を尊重した指導を行っており、体罰やセクハラはない。」の3項目については、いずれも8割を超え十分満足と判断できた。 ・保護者アンケートでは生徒の3項目に加え「カリキュラム内容」「PTA活動の充実」といった項目についても十分満足と回答があった。 <p>施設・設備については、築年数などの関係からあまり高い評価ではありませんでしたが、定期的な点検や生徒の安全確保を最優先に満足いただける学習環境の整備に努めてまいります。また、今年度から「自ら学ぶ力」の育成と学習習慣の定着のため校内に国公立をはじめとする現役女子大生が常駐・運営する自習室を設置しました。「ひとりで勉強しない」の合言葉どおり、仲間とともに切磋琢磨できる環境が下校時刻まで準備されています。</p> <p>昨年度進路指導のところで、校内の指導実態が分かりにくいというご意見をいただきました。今年度は、学校のホームページを活用し、日々の学校や生徒の様子をインスタグラムで公開しています。</p> <p>今後も「常に高遠なる希望と、正しき目標を持って自己を開拓し、互に相敬し、相愛し、信じ、明るき人生観に生くべし」と謳った薫英精神をもとに教育活動を展開してまいります。</p> <p>【授業、学力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒が感じる授業の分かりやすさや保護者が感じる子供の授業満足度はおおむね満足と思われる7割程度となりました。 ・「土曜日・長期休業中の講習や補習」については、生徒の肯定回答は昨年度から大きく増加したものの69.5%にとどまりました。一方で、保護者からは78.6%とおおむね満足を頂いている結果でした。 ・本校にICT機器が導入されてからは、教員は積極的な活用による授業力の向上に努めています。 ・特筆すべきは「学習評価が適切で納得できる」の肯定回答が生徒、保護者ともに8割を超えており、教員が行う評価の妥当性、信頼性について十分満足されていると判断できました。 <p>【進路指導等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進路指導に対する生徒、保護者の満足度はこれまで同様高い評価であった。 ・大学進学ゼミ・Jトレーニング・長期休業中の講習といった学習支援をはじめ、各種検定の取得を目的とした講習により、学力と資格取得をサポートすることで生徒一人ひとりにベストな進路選択を促している。 ・国公立や難関私立大学への進学実績に基づく進学指導、指定校推薦枠や併設校への内部推薦も一層充実させていく。 <p>【生徒指導等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「教職員は、様々な悩みや疑問等について、気軽に相談にのってくれる。」の肯定回答が72.5%「いろいろな問題を見逃さずに対応してくれている。」の肯定回答は生徒68.6%保護者74.6%でした。ティーンエイジャーという多感な時期の生徒一人ひとりの変化を見逃すことなく、画一的な指導ではなく生徒、保護者との信頼関係に根ざした指導に努めてまいります。 <p>【その他、学校運営等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私たちは知識基盤社会の到来やグローバル化の進展など急速に社会が変化している中にある。その中で、豊かな創造性を備え持続可能な社会の創り手となることが期待される生徒に、生きる力を育むことが求められている。学校運営についても、現状に留まらない新たな「変化」が必要な状況となっている。 ・コロナ禍ではあるが、今後の学校運営（体制）についても、3年・5年先をイメージしながら改善していく。 ・昨年の生徒アンケートで肯定的評価が半分を割り込んだ、「施設・設備」は45.1%から56.5%へ、「教室・廊下・トイレ等の環境」は45.9%から56.2%に改善した。引き続き教育環境の改善に取り組む。 ・インターネットを利用した緊急連絡システム（Fair Cast）による学校情報、内部の情報共有については、保護者の78.2%から肯定的回答を得た。しかし、Fair Castは令和4年度末でサービスを停止が決定しており、後継システムについて、テスト運用し令和5（2023）年からのスムーズな運用をめざす。 	<p>【概括】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・普段から「敬 信 愛」の建学の精神を意識し、多感な成長期の3年間、6年間に勉学に励みながらも先生や友達のよいところに尊敬の念を持ち支え合っていくこと、自分が嫌なことは人には決してしない、お互いを信じて学校生活を送り成長してくれることを望んでいる。 ・コロナで制限されていた行事も少しずつ戻り始め、薫英らしさが出てきた。次年度はさらに取り組まれ、コロナ前の教育活動への回復またそれ以上に進化させることを期待する。 ・学校規模を生かしアットホームであり、先生も生徒も”熱い”雰囲気をもった良い学校と感じている。 ・時代に即して設備面の充実を図っていただきたい。 ・歴史とともに施設の老朽化はやむを得ない部分もあるが、さらなる改修とともに新しさも求めたい。 ・国際化してきた社会を生き抜くうえで、薫英での留学や海外体験はめざす学校像、生徒像に大きく寄与しており、引き続き発展させてもらいたい。 <p>【授業、学力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ひとりで勉強しない」「みんなで頑張る」という校風に上手く適応して力を発揮する人が多い中で乗り切れない人もいることを忘れずに丁寧なご指導のもと、全体としての底上げを図っていただきたい。 ・これまでも塾に行かなくても、校内、特に放課後や休日の学習支援の体制はあったが、新たなサポート体制が導入されさらに充実してきた。 ・教科による特性はあるが、どの教科でも「わかる授業」「楽しい授業」になるように先生からの一方通行ではなく、生徒が「よく聞く姿勢」を持ち、「自ら学ぶ姿勢」を大事にする学習環境づくりに期待している。 <p>【進路指導等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒と教員はしっかりと向き合っており、本人に合う進路指導であり、進路選択をされていると感じる。 ・一方、近年大学の学部学科や入試方法など変化が目まぐるしく保護者についてはついていけない状況にある。もう少し保護者向けに情報発信があれば親子の会話にもつながるので発信を充実してもらいたい。 ・また、個別の相談を希望する保護者にはその機会等を増やしてもらいたい。 ・学校は生徒に対して進路のことを考える機会を適切に設けており、進路実現を図られている。 <p>【生徒指導等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの生徒の個性を認め、一緒に考え悩んで導いてくれる先生方の指導はありがたいと感じている。 ・どの先生も生徒に真摯に向き合っている。特に英検取り組みなどは、生徒が一朝一夕に結果を出せなくても、あきらめさせない根気強い指導をされており、感謝している。 <p>【その他、学校運営等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本校に限ったことではないが、夏場の暑熱環境下での教育活動には十分に注意され、暑熱対策を望む。 ・様々な要望については、適切に対応いただいていることがある反面、時間を要するものもあり、迅速な対応を要望する。 ・先生や生徒の心を豊かにし、ストレス解消の一翼を担う部活動については、コロナ禍では困難な面があったが、次年度は運動部だけでなく文化部も充実してもらいたい。

3 本年度の取組内容及び自己評価

	今年度の重点目標	具体的な取組み計画内容	評価指標	自己評価
1 国際的な視野を持ち論理的に考えることのできるグローバル人材の育成。	<p>(1)海外留学の安全な実施と内容の充実</p> <p>(2)各種海外研修の充実</p> <p>(3)実用英語技能検定(英検)の取り組み</p>	<p>ア. 全ての海外における学習が安全に行えるよう体制の整備、生徒の支援に取り組む。特に1年間の長期にわたる留学については無事に終えることができるよう、現地との連絡を密にして生徒を支援する。</p> <p>イ. 1年間の留学を意義あるものにするために、親元を離れ海外で生活する決意を固め、具体的目標を持って留学に望むよう、留学説明会や保護者交流会を定期的実施する。</p> <p>ウ. 姉妹校との連携の強化、並びに現地アドバイザーと本校国際教育部との連携を密にし、生徒や保護者を支える体制の維持に努める。</p> <p>ア. 各種海外研修についても、事前の準備を含めて、内容の一層の充実に努める。</p> <p>ア. 「英検取組み週間」を設定し、クラスの仲間とともに、より上級にチャレンジする。</p>	<p>ア. 生徒の安全にかかる重大事故0に努める。</p> <p>イ. 決意を持って留学ができたか、予期した成果のある留学であったかを留学後に検証する。</p> <p>ウ. 現地担当者が、生徒の状況を把握するとともに、姉妹校との連携に努める。</p> <p>ア. 海外研修後の生徒アンケートにおいて満足度80%以上</p> <p>ア. 中学卒業時に英検準2級以上70%、高校卒業時に2級以上60%の取得。</p>	<p>ア. 多くの生徒は安全に留学を実施。新型コロナウイルス禍であったので、事前研修が十分に実施できず帰国指導が増えた。1月にはニュージーランドの長期留学も復活。英語進学コースの短期留学は行き先ハワイを継続。(○)</p> <p>イ. 留学説明会は5・8・11月と計3回実施した。(○)</p> <p>ウ. 現地担当者が年度途中で帰国することになったために、現地アドバイザーやディストリクトと本校国際教育部が直接の情報共有に努めた。(△)</p> <p>コロナ禍で実施できていなかった短期研修を再開できた。実施することに注力し、事前準備は行ったが、数値のアンケートに至らなかった。</p> <p>ア. 英検について、中学卒業時の英検準2級以上取得は82.0%と目標並びに前年度を上回ったが、高校卒業時の2級以上取得は66.0%と成果指標を達成できなかった。しかし、1級取得者は21年連続して輩出することができた。(○)</p>
2 夢の実現に向けた学力の育成	<p>(1)授業の充実</p> <p>(2)学習意欲の喚起</p> <p>(3)夢を実現する進路指導</p>	<p>ア. 公開授業および各教科による研究授業を実施し、授業力の向上を図る。授業アンケートを実施し、「分かる授業、興味を持てる授業」を目指して、更なる授業改善に取り組む。</p> <p>イ.</p> <p>ア. 「一人で勉強しない」を合い言葉に友人とともに学習に取り組み学力の向上を図る。</p> <p>ア. 主体的に進路目標を定め、真に望む進路が実現できるよう支援に努める。</p> <p>ウ. 大学進学ゼミ・Jトレーニング・理数指導室の開講</p>	<p>ア. 授業アンケート結果 3.2を目標</p> <p>ア. 各クラスにおける定期テスト対策学習会の実施状況。自習室の利用状況。</p> <p>ア. 「行ける大学」ではなく「行きたい大学」が選択できる進路相談を、高校3年生で5回程度実施する。</p> <p>イ. 国公立大学10名以上、関関同立90名以上合格。</p>	<p>ア. 今年度は学校評価アンケートの「生徒一人ひとりを大切に丁寧でわかりやすい授業」を指標とし、その回答した生徒71.0%であった。(○)</p> <p>ア. 年5回の定期考査前には約1週間の学習取り組みも全クラスに定着し、参加率はほぼ100%であった。また、自習室については今年度、新たに放課後学習システムとしてメンター制度を導入し、これまでと異なる自習室の活用を図りました。(○)</p> <p>ア. 進路ガイダンスを高1で2回、高2で4回実施した。高3においては、保護者対象を2回、生徒対象を5回実施した。生徒の進路実現の支援に努めた。(○)</p> <p>イ. 国公立3名、関関同立106名の合格で、国公立については目標値には至らなかったが、ゼミやJトレーニングを校内で開講し、継続して国公立大学に合格し、関関同立には100名を超える合格者を出すことが出来た。(○)</p>

<p>3 友情を育み自立心を養う</p>	<p>(1)ともに競い合い励みあって向上する集団の育成に努める。</p> <p>(2)規範意識と豊かな心を育む</p> <p>(3)安心・安全な学校づくり</p>	<p>ア. 学校行事に真剣に取り組み、互いの存在に気づき尊重する「豊かな心」を育む。また、行事準備期間を重視しさまざまな葛藤を経てクラスへの帰属意識を養い、ともに支えあう集団を育成する。</p> <p>ア. 基本的生活習慣の確立と規範意識の醸成</p> <p>イ. 生徒会活動の活性化を図り、生徒の主体的な活動を支援する。</p> <p>ウ. クラブ活動の活性化 放課後の活動の中で、クラス、学年、ブロックを超えた生徒間の関わりを持たせる。 強化クラブ（陸上、バスケットボール、ソフトテニス）の大会実績の向上。</p> <p>ア. 一人一人を大切に作るクラス（居心地がいいと感じるクラス）を生徒と共に協力して作る。本校「いじめ防止基本方針」に基づきいじめ事象の未然防止に努める。</p> <p>イ. 保護者への情報の提供、共有に努める。</p>	<p>ア. 生徒向け学校評価アンケートにおいて、行事に対する肯定的回答70%以上</p> <p>ア. 保護者に対するアンケート結果で80%</p> <p>イ. 生徒会活動の状況学校評価アンケートでの肯定的回答70%以上</p> <p>ウ. クラブ活動の実績 外部競技会への参加、他校交流を奨励する。 強化クラブの上位入賞を目指す。</p> <p>ア. 保護者・生徒向け学校評価アンケートで肯定的回答80%を目指す。</p> <p>イ. 保護者アンケート結果で肯定的な意見80%を目標とする。</p>	<p>ア. 「行事の充実」について肯定的な回答80.7%と昨年比+13.7%となった。今年度新型コロナウイルスによる規制が少しずつ緩和され、行事や行事に向けた取り組みができた。「豊かな心」を育成するのに十分とは言えないができつつある。 (◎)</p> <p>ア. 「社会のルールを守る態度を育てようとしている」について肯定的な回答は生徒75.6%保護者76.3%と、残念ながら目標値に達しなかった。月例の風紀検査や必要な生徒への追指導、日々の生活指導を粘り強く行い基本的生活習慣の確立と規範意識の醸成に努める。 (△)</p> <p>イ. 「生徒会活動は活発で充実している」の肯定的回答が生徒77.6%保護者77.5%と目標を越えることができた。引き続き生徒の主体的な生徒会活動を支援していく。(○)</p> <p>ウ. 陸上部：全国高等学校駅伝競走大会に17年連続17回目の出場を果たしました。また、本校生徒・卒業生が多くメンバーとなった都道府県対抗女子駅伝で大阪の優勝に貢献した。 高校バスケットボール部：インターハイ準優勝 中学バスケットボール部：ジュニアウインターカップ優勝 これらの成果を他のクラブの活動にも波及させていく。(◎)</p> <p>ア. 「人権を重視した指導」に対する肯定的回答は、生徒80.0%保護者84.1%と目標を達成した。(◎) 学期に1回実施するQ-Uなども活用し引き続きいじめ事象の未然防止に努める。</p> <p>イ. 保護者向け学校評価アンケートでの肯定的回答78.2%と目標に達しなかった。緊急連絡という限られた情報にとどまらず、ほぼ毎日更新されるInstagramやホームページの内容などを見てもらえるよう保護者に案内する。なお、次年度は緊急連絡方法を変更する。 (△)</p>
----------------------	---	--	---	---